

2014年8月26日

東日本旅客鉄道株式会社

総合防災訓練の実施について

JR東日本では、8月30日からの「防災週間」を中心に、総合防災訓練を実施します。本社総合防災訓練では、都心南部を震源とするM7.3の地震を想定し、情報収集等の初動対応訓練を本社、支社及び現業機関が連携して実施します。

訓練は以下の内容を中心に実施します。

- ・本社及び各支社等における対策本部の設置・運営訓練
 - ・社員及びその家族の安否確認訓練
 - ・各現業機関における実動訓練（救助・救命訓練、避難誘導訓練、初期消火訓練等）
- 自治体等と連携した訓練も実施します。

訓練は以下の要領で行います。

1 日 時

2014年9月1日（月）を中心とし、本社及び各支社にて設定

2 訓練の想定

本社及び東京、横浜、八王子、大宮、千葉（以下、東京圏）の各支社においては、対策本部の設置・運営訓練を行います。訓練は「7時00分に都心南部を震源とするM7.3の地震が発生し、東京圏で全面的に運転中止となり、列車脱線や駅舎一部倒壊により多数の人的被害が生じている」という想定で行います。また、一部駅においては、東京圏の路線が広範囲で長時間にわたり運転中止となる地震発生を想定し、駅に滞留したお客さまの対応訓練等を行います。

東京圏以外の支社においては、各支社管内での大地震発生を想定した訓練を行います。

3 主な訓練内容

本社、各支社対策本部の設置・運営訓練

- ・ 発災直後、本社対策本部を高崎支社に設置し、初動対応訓練を行います。
- ・ 本社対策本部に関わる社員は、本社ビルへの非常参集を行います。本社ビルの体制が整った段階で高崎支社に設置した対策本部を本社に引き継ぎます。その後、当日選定された限られた社員で対策本部運営訓練を行います。
- ・ 東京圏各支社対策本部に関わる社員は、各支社ビルに非常参集を行います。体制が整った段階で、支社対策本部を設置し、限られた社員での運営訓練を行います。
- ・ 運営訓練では、本社対策本部と支社対策本部との間で、衛星電話等の非常用通信設備をはじめとした多様な手段を使用して、被災状況の情報伝達や救助派遣指示等を行います。

安否確認訓練

- ・ 全社員を対象とし、社員及びその家族の安否確認訓練を実施します。

非常参集訓練

- ・ 本社、支社、現業機関の社員が、勤務箇所や最寄り駅等の予め定められた箇所へ非常参集を行います。

救助・救命等の実動訓練

- ・ 駅を中心とした現業機関においては、お客さまの避難誘導、救助救命、初期消火等の実動訓練を実施します。また、一部、自治体等と連携した訓練も実施します。

4 主な訓練の実施箇所

各支社において、実動訓練を実施します。詳細は別紙をご参照ください。

2014年度総合防災訓練の主な実施箇所

支社	実施箇所	日時	参加数	訓練内容
東京	東京支社管内全般	9月1日(月) 7:00～12:00	約2,000人	都心南部を震源とするM7.3の地震発生を想定し、社員及び家族の安否確認訓練、非常参集訓練、対策本部設置・運営訓練及び本社・現業機関と連動した情報伝達訓練を実施します。
	東京駅	9月1日(月) 9:30～11:30	約100人	東京湾を震源とする震度7の地震発生を想定し、お客さま及び勤務中の社員の負傷等を確認する訓練を実施します。構内コンコースの被害状況を確認し、お客さまを丸の内側へ避難させることを想定した避難誘導訓練を実施します。また、構内店舗からの火災発生を想定し、構内店舗社員と駅社員で消火訓練を実施します。
	新宿駅	9月1日(月) 10:00～11:00	約150人	都心南部を震源とするM7.3の地震発生を想定し、新宿駅、新宿消防署、防火管理協議会、グループ会社及び構内店舗等と連携し、対策本部設置訓練、初期消火訓練及び避難誘導訓練等を実施します。
横浜	横浜支社管内全般	9月1日(月) 7:00～13:00	約500人	都心南部を震源とするM7.3の地震発生を想定し、社員及び家族の安否確認訓練、非常参集訓練、対策本部設置・運営訓練及び本社・現業機関と連動した情報伝達訓練を実施します。
	藤沢駅	9月1日(月) 9:30～12:30	約200人	都心南部を震源とするM7.3の地震により、駅舎が倒壊、駅手前で列車が緊急停止、列車内・ホーム上に負傷したお客さまがいることを想定し、藤沢市、小田急電鉄等の協力を得て駅社員、消防署職員による救助・救命訓練と一時滞在所への避難誘導訓練を実施します。
八王子	八王子支社管内全般	9月1日(月) 7:00～13:00	約450人	都心南部を震源とするM7.3の地震発生を想定し、社員及び家族の安否確認訓練、非常参集訓練、対策本部設置・運営訓練及び本社・現業機関と連動した情報伝達訓練を実施します。
	各現業機関	8月30日(土) ～9月5日(金)	約200人	大地震により発生しうる被害を各職場で想定し、対応及び役割分担について議論・再確認を行う机上訓練並びに実働訓練を実施します。
大宮	大宮支社管内全般	9月1日(月) 7:00～13:00	約400人	都心南部を震源とするM7.3の地震発生を想定し、社員及び家族の安否確認訓練、非常参集訓練、対策本部設置・運営訓練及び本社・現業機関と連動した情報伝達訓練を実施します。また、災害用衛星通信車載局を起動させ大宮支社外へ運用する訓練を実施します。
高崎	高崎支社管内全般	9月1日(月) 7:00～11:00	約500人	関東平野北西部縁断層帯で震度6弱の地震発生を想定し、社員及び家族の安否確認訓練、非常参集訓練、本社対策本部(代行)の立上げ訓練及び支社対策本部設置・運営訓練を実施します。また、高崎駅に現地対策本部を立ち上げ、支社対策本部との初動対応訓練、情報伝達訓練及び運転再開に向けた点検訓練等を実施します。その他、衛星電話等の取り扱い方法の確認及び災害用備蓄品の確認等を実施します。
	各現業機関	8月30日(土) ～9月5日(金)	約150人	高崎駅、熊谷駅では、近隣の現業機関を交えて防災訓練を実施します。また、その他の現業機関では、災害発生時の役割確認等を実施します。
水戸	水戸支社管内全般	9月5日(金) 7:00～12:00	約400人	福島県沖を震源とする震度6弱の地震により駅舎や線路の被害が発生したことを想定し、72時間以内に最大限の救助・救命活動を実施するために、社員及び家族の安否確認訓練、非常参集訓練及び対策本部設置・運営訓練等を実施します。
	土浦地区	9月1日(月) 7:00～12:00	約70人	地震発生により運転操作を誤った軽自動車が列車と衝突したことを想定し、消防機関と協力して軽自動車のドライバー救出訓練、列車内のお客さま救済訓練及び避難誘導訓練を実施します。
	水戸地区	9月1日(月) 10:00～12:30	約80人	地震発生に伴い、駅舎が一部倒壊すると共に、停車中の列車及び駅舎内で多数の負傷したお客さまがいることを想定し、負傷したお客さまの救助・救命訓練及び避難誘導訓練を実施します。
	いわき地区	9月3日(水) 10:00～12:20	約60人	地震発生に伴い、停車中の列車を想定したお客さまを降車させる訓練、避難誘導訓練を実施します。また、初期消火訓練及びお客さまの救助・救命訓練も実施します。
	水郡線営業所	9月1日(月) 9:30～12:00	約40人	地震発生に伴い、駅舎が一部倒壊及び負傷したお客さまがいることを想定し、負傷したお客さまの救助・救命訓練、避難誘導訓練及び列車脱線想定した脱線復旧訓練を実施します。
千葉	千葉支社管内全般	9月1日(月) 7:00～13:00	約900人	都心南部を震源とするM7.3の地震発生を想定し、社員及び家族の安否確認訓練、非常参集訓練及び支社社員を対象に対策本部設置・運営訓練並びに情報伝達訓練を実施します。また、現業機関から衛星携帯電話等を活用し、情報を伝達する訓練を実施します。
	錦糸町駅	9月2日(火) 10:00～12:00	約100人	駅構内において、駅社員、構内店舗社員による救助・救命訓練及び電留線において乗務員・駅社員によるお客さま降車誘導訓練を実施します。
仙台	仙台支社管内全般	9月1日(月) 7:00～12:00	約100人	宮城県沖を震源とする震度6強の地震が発生し、仙台支社管内で列車が停車及び駅設備に被害が発生したことを想定し、社員及び家族の安否確認訓練、非常参集訓練、初動対応マニュアルに基づいた訓練及び対策本部設置・運営訓練を実施します。
盛岡	盛岡支社管内全般	9月1日(月) 7:00～12:00	約490人	岩手山麓を震源とする震度6弱の地震が発生したことを想定し、社員及び家族の安否確認訓練、非常参集訓練、対策本部の設置・運営訓練、情報伝達訓練、初期消火訓練及び支社ビルからの避難誘導訓練等を実施します。
	青森、八戸、盛岡、北上、一ノ関の各地区	9月1日(月) 7:00～12:00	約950人	駅構内で負傷されたお客さまの救助・救命訓練、消火訓練及びエレベーターからの救出訓練、帰宅困難者の一時収容避難箇所への避難誘導訓練(盛岡地区)、脱線復旧訓練(八戸地区、青森地区)、現車訓練(一ノ関地区、北上地区、青森地区)を実施します。設備関係の現業機関では、タブレット端末を使用した対策本部への現場状況説明訓練及び映像転送訓練を実施します。
秋田	秋田支社管内全般	9月1日(月) 7:00～11:00	約600人	横手盆地・真昼山地を震源としたM8.1の地震が発生したことを想定し、社員及び家族の安否確認訓練、非常参集訓練、情報伝達訓練、対策本部設置・運営訓練及び災害用備蓄品・初動対応マニュアルの確認等を実施します。
	横手運輸区構内	8月31日(日) 9:50～11:00	約60人	秋田県の総合防災訓練の実施日に併せ、当社独自に横手運輸区構内において、列車が地震で停車したことを想定し、列車からの避難誘導訓練等を実施します。
新潟	新潟支社管内全般	9月1日(月) 7:00～14:00	約600人	新潟支社管内の各地を震源とするM7.0の地震発生を想定し、社員及び家族の安否確認訓練、非常参集訓練、対策本部設置・運営訓練、情報伝達訓練及び駅間に停車した列車への対応訓練を実施します。
	酒田、直江津、長岡、新潟の各地区	9月1日(月) 7:00～12:00	約200人	駅ではお客さまの避難誘導訓練を実施すると共に、駅間で停車した列車で負傷したお客さまがいることを想定し、消防機関と協力し、列車からのお客さま救済訓練を実施します。また支社対策本部との衛星携帯電話、タブレット端末等による情報伝達訓練及び映像転送訓練を実施します。
長野	長野支社管内全般	9月1日(月) 7:00～12:00	約350人	長野支社管内各地で最大震度7の地震発生を想定し、社員及び家族の安否確認訓練、非常参集訓練、限られた要員での対策本部設置訓練、情報伝達訓練及びエレベーターからの救出訓練等の初動対応に重点を置いた訓練を実施します。また、長野県危機管理部と情報を共有するために、数名の情報収集員を相互に派遣します。
	松本、長野、小海、上諏訪、信濃大町の各地区	9月1日(月) 7:00～12:00	約250人	情報連絡拠点を設置し、支社対策本部、情報連絡拠点及び被災した駅との衛星携帯電話等を使用した情報伝達訓練、非常参集者を被災した駅へ応援派遣する訓練(長野地区)、お客さま避難誘導訓練、救助・救命訓練及び初期消火訓練等を実施します。また、被災箇所からの画像転送訓練を実施します。